

単元名 しをたのしもう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。
 (2) 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。
 (3) 語のまとまりや言葉の響きに気を付け、詩のよさが伝わるように音読しようとする。

標準的な展開例

02010201_001

【教材名】雨のうた (上 P.110～P.111)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「雨のうた」を音読し、好きなところについて話し合う ★詩を楽しんで読もう。 ○雨のイメージを出し合い、音を想像する。</p> <p>○「雨のうた」を音読し、好きなところを話し合う。</p> <p>2 好きなところが伝わるように、詩を音読する。 ○「雨のうた」の自分の好きなところのよさが伝わるように音読する。</p> <p>○友達の音読を聞き、感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「雨の音はどんな音だろう」と質問し、児童からさまざまな雨の音を挙げさせてもよい。 ・繰り返しや呼びかけの表現に着目させて音読させる。 ・それぞれの児童の好きなところを出させ、その理由を簡単に発表させる。 <p>【評】好きなところを探しながら音読をする活動を通して、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読をする「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よさが伝わるようにするために、どう音読するかを発表させてから音読してもよい。 <p>【評】好きなところが伝わるように音読する活動を通して、感じたことや分かったことを読み方の工夫で表現する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさや間の取り方、リズムなどの工夫が感じられるかなどの聞くポイントを、音読を聞く児童へ与えておく。 <p>【評】音読を聞き合う活動を通して、相手に詩のよさが伝わるように音読しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】